

天野川に琵琶湖固有種のピワマスが遡上できる環境をつくってまちづくりを進めようと、市では県や関係機関とともに「天野川ピワマス遡上プロジェクト会議」を設置しています。



天野川ピワマス遡上プロジェクト会議
事務局：経済環境部 環境保全課(伊吹庁舎)
☎58-2230 ㊟58-1630



雨上がりの朝、設置した魚道を通して、ピワマスが元気にジャンプして遡上していく様子を確認できました。(10月18日撮影)

天野川ピワマス遡上プロジェクトでは、琵琶湖から天野川を遡上するピワマスが、5年以内に丹生川との合流点まで遡上できることをめざして活動しています。

今回は、ピワマスたちの遡上を妨げている第一関門、岩脇地先にある高さ70cmの堰堤に簡易魚道を設置する作業を行いました。

秋はピワマスの遡上の季節です。みなさんも、ぜひこの魚道を飛び越えていくピワマスの姿をご覧ください。

なお、この場所には、県の協力のもと、今年度末までには本格的な魚道を設置する予定をしており、今後も、丹生川合流点まで順次魚道を設置していく予定です。

現地レポート

簡易魚道を設置しました!

9月29日
天野川
岩脇地先



この日はピワマス倶楽部のメンバーや、滋賀県立大学の学生、プロジェクトのメンバーが集まり、まずは川をせき止めるための土のう作りからスタート。そして、鉄板を一枚一枚慎重に運び入れ、みんなで支えながら現地を組み立てると、段々になった魚の通り道が完成しました。作業終了後には、ピワマス入りのパンに舌鼓を打ちながら、完成の喜びを分かち合いました。

ビワマスの卵をペットボトルで育てよう

冷蔵庫 ふ化実験 参加者募集!



11月18日に卵を配布します

天野川ビワマス遡上プロジェクトの一環として、市民のみなさんを対象に、ビワマスふ化実験の参加者を募集します。この実験は、自宅の冷蔵庫でビワマスの卵をふ化させるというもので、昨年度、市職員が試験的に取り組みました。

この実験を通じて、琵琶湖固有種である貴重なビワマスが少しでも増えてくれることや、参加者のみなさんが、ビワマスや河川環境などに興味を持っていただくこと、さらには家族の絆を深めることなどにつながればと考えていますので、ぜひご参加ください。

●卵の配付方法

11月18日(日)醒井養鱒場で開催される下記のイベントで配付

●持ち物

500ml以上のペットボトル

●実験の流れ

①「ビワマスシンポジウム」で卵を受け取り、ペットボトルに入れて帰る。

②自宅の冷蔵庫でふ化を待つ。(12月上旬まで)

③ふ化した稚魚のお腹の栄養がなくなるまで、自宅の冷蔵庫で飼育する。(3月)

④お腹の栄養がなくなった稚魚を天野川に放流するか、市役所各庁舎に設置予定の水槽に移す。(3月)

⑤実験報告書を提出する。

●注意点

▽今回のふ化実験は、米原市民のみが対象です。

▽ふ化した稚魚は、必ず天野川(または天野川支川)に放流してください。

▽実験終了後に報告書を提出していただきます。

▽ビワマスは繊細な魚です。3割〜4割程度は成長の過程で死んでしまうことがあります。

ビワマスシンポジウム&紅葉ます祭

とき 11月18日(日)10時~15時
ところ 醒井養鱒場(米原市上丹生)

ビワマスふ化実験の卵を配布!

ビワマスシンポジウム

プロジェクトの取り組みを紹介します。ビワマスや地域の環境を楽しく学ぼう!

- パネルディスカッション 13時~14時
ビワマスに関する思いや今後の展望について語り合います。
- まいばら水探検隊 10時~12時
親子で醒井養鱒場を見学し、養鱒場の歴史とビワマスの一生について学習します。
事前申込要・先着50人
(申込先) 市 水源の里振興室 ☎58-1121
- ビワマスふ化実験用卵の配布
- ビワマスに関する取り組みの紹介
プロジェクトの取り組み状況や、県のビワマス増養殖研究の成果などを紹介します。

紅葉ます祭

自然豊かな醒井養鱒場の魅力、ビワマスの魅力を存分にお楽しみください。

- ビワマス料理の無料振る舞い11時~14時
ビワマスの姿寿司(500食)・ビワマスの塩焼き(200食)・ビワマスの味噌汁(1,500杯)
- ビワマスバーガーの販売 10時~15時
- 木彫製品の販売と実演体験 10時~15時
- 地元バンド演奏 10時30分~12時30分
- ビンゴゲーム 14時15分~15時 など

11月18日は「家族ふれあいサンデー」にあたるため、醒井養鱒場の入場料が無料になります。ぜひ、ご家族でお出かけください! 駐車場も無料で利用できます。

醒井養鱒場 ☎54-2715